



INTERNATIONAL JOURNAL

(インターナショナル・ジャーナル)

2025 Summer Issue (夏号)

【四半期ごとに、環境について国際的な視点でご紹介します。】

水の惑星と言われる地球。実は世界に水は足りていない！

SDGs では水道のパイプで管理されている水を「**安全な水**」としていますが、世界を見渡すと安全な水を利用できることは当たり前ではありません。

6 安全な水とトイレ
を世界中に



安全な飲み水を使えない人は、世界に**約 22 億人**もいます。

世界では水をめぐり紛争が起きており、20 世紀が石油をめぐって戦われたとするならば、**21 世紀は水をめぐる世紀になる**、とも言われています。

世界の水問題解決に注目されているのが『**空気から飲料水を作る技術**』

日本や世界には空気から水を作る企業があり、世界の水不足問題の解決に一役買うのではないかとされています。

空気から水を生成する際に使う仕組みは「**結露**」です。空気中の水蒸気を冷やして、結露を発生させます。結露で溜まった水をろ過して、飲料水として利用するものです。

空気と電気さえあれば、砂漠のような乾燥した気候の中でも水を作ることができるため、**世界の水不足問題の解決だけでなく、災害時に活用される**ことも期待されています。



結露とは？

空気が冷たい面に触れて温度が下がり、空気中に含まれる水蒸気が水滴となって現れる現象です。



プラットホーム洗浄の様子

清掃工場では**水の使用量削減**に努めています！

清掃工場の操業では、工場内道路、工場機器、トイレなど衛生環境を維持するため、大量の水を使用しますが、利用する水の一部に、ろ過した雨水や再生水を利用しています。

水は**貴重な資源**です。無駄にしないようにしましょう。

再生水：通常の下水处理に加え、ろ過処理やオゾン処理などさらに高度な処理を行った水

2025年日本国際博覧会（大阪・関西万博）

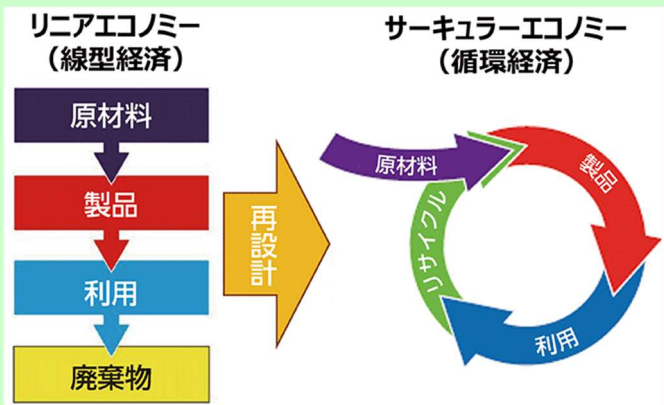
テーマ「未来社会のデザイン」

万博の取組から、**環境の未来**について一緒に考えてみましょう！

キーワードは、「資源循環・循環経済（サーキュラーエコノミー）」

2060年には2017年の**2倍以上に増加**するとされている**世界の資源消費量**。

資源の不足や環境への影響が懸念されていることから、世界では**持続可能な資源利用に向けた取組（サーキュラーエコノミー）**に注目が集まっています。



【万博で行われる具体的取組（一部）】

プラスチック対策

- ・マイバッグやマイボトルの活用
- ・リユースできる箸や食器での飲食の提供
- ・木や竹などのバイオマス素材の活用



食品対策

- ・食べきれない量のメニューでの提供
- ・消費期限や品質に問題ない食材のフードバンク寄贈
- ・食品廃棄物の堆肥化（リサイクル）



万博をきっかけに、私たちも未来社会での取組を始めてみませんか？

参考：環境省、日本国際博覧会協会

令和7年6月20日発行 印刷物登録 令和7年度第24号

東京二十三区清掃一部事務組合 清掃事業国際協力室

(Clean Authority of TOKYO, International Cooperation Department for Waste Management)

ホームページ：<https://www.union.tokyo23-seisou.lg.jp/index.html> 電話：03-6238-0572

【東京二十三区清掃一部事務組合は、海外のごみ問題に23区とともに取り組んでいます。】

